

発刊のことば

千葉大学工学部工業意匠学科は、昭和24年東京高等工芸学校を母体として設立され、以来、同窓生は1700名にのぼり、日本のデザイン界の一翼をになうに至っています。

このたび、工業意匠学科設立40周年を迎えるに当たり、記念事業として千葉大学工学部工業意匠学科同窓会会員作品集「IDCU40」刊行のはこびとなりました。

1990年代のデザイン界を取りまく環境は、国際化が進む中で「日本のデザインの真価」が問われている時代、といっても過言ではありません。日本のデザイン界も成熟期を迎え、デザインも輸出する時代です。一方、海外のデザイナーの日本進出が、この数年増え続けており、経済発展のためのデザイン戦争も、より一層激しさをましてくるものと思われます。

また、国内に目を転じて、消費者のデザインに対する希求は著しく、商品の良し悪しもデザインが左右するようになってきております。

こうした時代を背景に「IDCU40」が発行され

ることは、たいへん意義深いことと思われます。当初、「IDCU40」は、会員消息にウエイトを置いた同窓会名簿の発行ということからスタートしましたが、1700名という膨大な会員が日本のデザイン界に与えている影響は多大なものがあると考えられますので、その活躍の一端を「作品集」という形で紹介していくことに致しました。

会員作品による、この「IDCU40」は、現代デザインの心を語り、千葉大学のデザイン教育の成果を社会に問い、日本のデザイン界の水準を示すものと考えます。また、この一冊が、同窓会会員の情報網として、なかでも若いデザイナーとのコミュニケーション、ネットワーク形成の手段としてお役に立てれば、事務局としても幸甚です。

最後に、忙中、このような煩雑にしかつ根気のいる仕事にたずさわってくださいました編集委員会の皆さまに、同窓会を代表して心よりお礼を申しあげます。

千葉大学工学部工業意匠学科同窓会会長 青木茂吉